



くしもと

議会だより

Vol. 29

2019年3月

9月議会定例会報告	P2
12月議会定例会報告	P3
一般質問	P4～P14
町広報掲載以外の出来事等	P14
議会改革特別委員会活動報告	P15
議会の動き・議長公務日誌	P16

第3回定例会(9月)

第3回定例会は9月4日から18までの会期で開催されました。提出された案件は、当局より報告3件、人事案件1件、条例案件6件、補正予算案件14件、決算認定案件17件、その他の案件3件の合計34件、追加議案として補正予算案件1件、その他の案件2件、議会から請願1件、その他提出案件4件の合計8件でした。決算審査特別委員会で継続して審査することになりました。



第4回定例会(12月)



下水道事業条例一部改正案は、サンゴ台下水道料金の値上げに関するものであり採決が行われました。反対者1名・賛成者は1名を除いた賛成多数により可決されました。

また、B&G海洋センター条例一部改正案は、トレーニング機器更新に伴いトレーニングルーム会員の利用料値上げを目的としたものであり、全員異議なく可決しました。

平成29年度串本町病院事業特別会計の決算認定については、認定か不認定かの採決がされました。

認定賛成者11名・認定反対者3名で認定となりました。

第4回定例会における当局からの提出案件は、2件につき採決が行われましたが、串本町議会の総意として全て可決・承認・認定と致しました。

審議された主な議案は次の通りです。

- 串本町財産区管理委員の選任
- 潮岬財産区管理委員の選任
- 町営住宅使用料債権の債務者・保証人死亡等により、回収不能のため権利の放棄をすることについて
- へき地保育所条例改正
- 串本町下水条例の一部改正について
- 串本町B&G海洋センター条例の一部改正について
- 平成29年度各会計決算の認定について

平成30年度一般会計補正予算(第5号・6号・7号)

主なもの

・台風被害復旧関連（*専決処分）	2,128万円
・和深総合センターハー大規模修繕事業	△1,821万円
・前地児童館大規模改修事業	△514万円
・児童送迎バス購入費（学童保育）	801万円
・農林水産業施設災害復旧費	4億5,130万円
・公共土木施設災害復旧費	4,946万円

*専決処分とは：地方自治法により、町村長が議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき、議会の議決を得ずに予算を執行することが出来る。後日、議会の承認が必要となる。

台風24号の災害に伴う復旧費が予算案の大部分を占め、今議会の一般会計補正予算額は6億400万円となりました。これにより、12月議会終了時点で一般会計の予算総額は107億2300万円となっています。

第4回定例会は12月4日より14日までの会期で開催されました。
提出された案件は、報告1件、人事案件2件、条例案件8件、補正予算案件の他の案件2件の合計18件及び平成29年度の17件の決算認定、追加議案として報告1件、条例案件2件、補正予算案件5件、議会から提出案件の合計9件であります。

諸報告の主なもの

- 職員採用試験の状況について、4月9日から6月15日までの募集の結果、8名の応募があり、先日内定者2名を決定しました。
- 地域おこし協力隊として3月まで3年勤務されたアイシェギュル・アルカンさんの後任として、8月9日よりドゥルナ・オズカヤ国際交流員が着任しました。
- ブロック塀撤去補助金について、昨年度14件に対し現在27件の申請があり、家具転倒防止金具取付事業は、昨年度11件に対し現在40件の申請をいただいている。
- 串本町保健センター内に「子育て世代包括支援センター」を開設します。
- 各観光施設の夏の入り込み状況について、大江戸温泉物語南紀串本については、オープン以降満室状態が続いており、宿泊客数は、8月末現在で5万人を突破し、他のホテルにおける今夏の実績も、対前年比109.8%増加しております。橋杭海水浴場の入り込み客数は、対前年比137.9%で「海の家」の売上実績は111.6%、シーカヤック等のツアーやレンタルにおいても142.7%と大幅に増加しました。
- 「ビルフィッシュトーナメントin串本」では、日本新記録となる361.2kgのクログジキが釣り上げられました。
- 姉妹都市青少年交流事業について、8月20日から29日まで10日間の日程で、メリシン市の青少年5名と引率者2名が、串本町を訪問しました。

平成30年度串本町一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ8,292万1千円と追加し、予算の総額を101億427万7千円とする。

主なもの

・B&G海洋センター大規模修繕事業設計業務委託料	614万8千円
・ブロック塀撤去改善補助金	580万円
・防災情報共有システム導入業務委託料	2,585万6千円
・子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料	188万円
・水産業振興経費施設修繕料	269万円
・稻村亭石塀改修工事	128万円
・住宅管理経費ブロック塀等撤去改修工事	850万2千円
・中学校管理経費ブロック塀等撤去改修工事	276万4千円
・武道館管理経費外壁修繕工事	390万4千円

平成30年度串本町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ14,137万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10,118,414千円とする。

議会改革特別委員会

平成30年第4回定例会(9月議会)において設置

構成議員：委員長：芝山、副委員長：仲江
委員：五十川、佐藤、島野、清水、鈴木、結城 以上8名

目的：「住民に信頼される権能の強化」
サブタイトル：議会基本条例の策定を一つの目標とする。

今後の工程：平成30年度 調査項目の検討、研修
平成31年度 実態調査、意見集約、議会基本条例の原案作成、研修
平成32年度 広報、広聴等

*平成33年3月(議員任期中)までを本特別委員会の任期とし、議会基本条例の策定を確立したい。
議会改革特別委員会の設置までの歩み：

- ① 平成20年頃より議会改革については、議員定数、議員報酬、TV放映等について議会運営委員会において検討されていたが、結論まで至っていない。(過去の経緯あり)
- ② 平成29年9月に議会運営委員会より4議員(芝山、佐藤、鈴木、仲江)を選出し議会改革準備委員会の設立
- ③ 準備委員会の作業内容

1. 過去の取組みの洗い出し(確認可能書類 平成25年6月7日～)
2. 議会改革に必要な書類の収集
 - 町村議会実態調査の概要
 - 2018年町村議会議長会資料
 - ・長崎県小値賀町
 - ・徳島県那須町
 - ・福岡県大刀洗町 以上3町のプレゼン資料
 - 議会改革PDCAシート(早稲田大学マニフェスト研究所)
 - 北海道栗山町議会の議会基本条例の誕生と展開(議会改革先駆け)
 - かつらぎ町議会基本条例(和歌山県)
 - 美浜町議会基本条例(和歌山県)

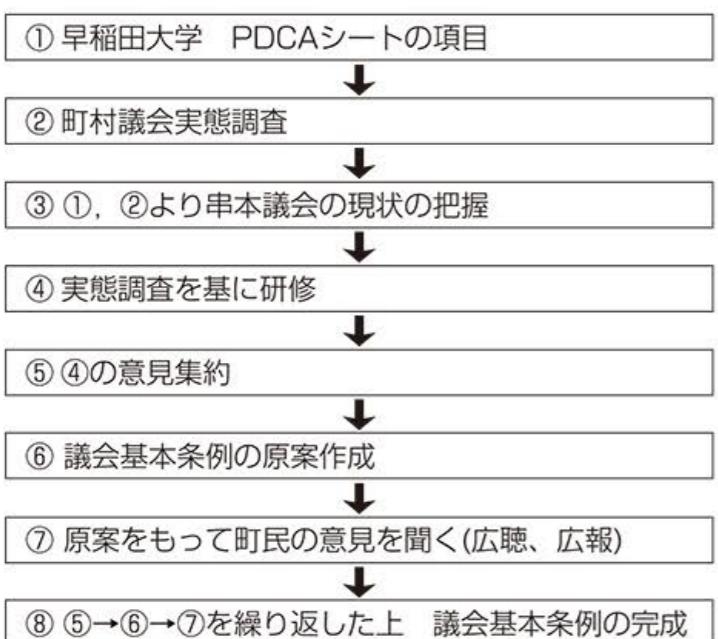
*和歌山県下の町村議会で議会基本条例 上記2町のみ
その他必要書類の収集

今後の作業方針：「串本議会は何をしているかわからない?」「串本議会はどうなっているの?」

等々のご意見を聞いておるところあります。

その声に対応対処すべく開かれた議会、ガラス張りの議会とする為

今後の取組み予定フロー



*作業途中で特に重要な項目については、詳細に議会基本条例に盛り込むか別枠において検討する。

一般質問



橋爪和雄

自然災害対策について
砂防堰堤の機能について
除石ラインの確認について

答弁 (建設課長) 山の斜面や川底、川岸などから流出土砂をためて、浸食破壊や川の浸食が進むのをコントロールする。堤防を越えるような土砂が堆積した場合は撤去する。ため池の管理、安全性について。

産業課長 定期的に点検を実施して、安全性を確保していきたい。
質問 (産業課長) 安全性をしづかりと確保していく。これからも、のり面の点検も考慮していきたい。

子育て支援について
認定こども園の利用状況と災害時の対応について。状況による津波災害から子どもの命を守るために、高台への避難訓練を日々実施している。災害等の避難マニュアルの作成を行ない、安全保育に努めている。

企画課長 庁舎に来られた方に、説明用のチラシはつくついているが、ホテルや観光施設等に置くこと等に置くチラシはつくついている。

ふるさと納税について
町の活性化につながる取り組みが、ふるさと納税の力でつながるといつかない。

ビキニ被爆65年

今年の3月1日は第5福龍丸がビキニの水爆実験で被爆をして65年目にあたります。太平洋における核実験はその後も続けられて、当時多くのマグロ漁船が被爆をし、また被爆したマグロやサメを釣り上げ、それが一時的には検査や廃棄処分が行われましたが、多くは検査もせずに食卓に流通されました。

高知県では高校生を中心とした核実験の被爆船に関する追跡調査が粘り強く続けられてきましたが、こうした調査をもとに、国家賠償請求訴訟が起こされています。原告の一人に高知県在住で、第13光榮丸の乗組員谷脇壽和さんがいます。

第13光榮丸は神奈川三浦の三崎漁港船籍の船ですが、三浦の船で唯一、釣り上げた魚を全量廃棄させられた、深刻な被害を受けた船ですが、じつは船主は串本出身の金澤尾さんで、串本港から三浦の三崎漁港へ船団を引き連れて移住した人です。

当時串本町内でも古座船籍の一丸や漁栄丸が被爆マグロを釣りあげ、慰謝料を受け取っています。しかしこうした事実は風評被害を防ぐためにこれまであまり公表されていませんでした。当事者がほぼ亡くなっている状況で、調査は困難ですが、私たちの町でも第5福龍丸以外の被爆船の実態を調査し、後世に語り継いでいく必要があります。



議会の動き

〔本会議〕

9月4日～9月14日 第3回定例会
12月4日～12月14日 第4回定例会

〔委員会〕

〔議会運営委員会〕
8月28日・9月7日・9月28日・11月27日・12月5日

〔常任委員会〕
8月28日 文教厚生常任委員会
8月31日 総務産業建設常任委員会
9月 6日 文教厚生常任委員会
9月 7日 総務産業建設常任委員会
9月12日 文教厚生常任委員会
9月13日 文教厚生常任委員会
11月 8日 文教厚生常任委員会
12月 4日 文教厚生常任委員会
12月 5日 総務産業建設常任委員会

〔特別委員会〕

11月 8日 議会改革特別委員会
12月13日 議会広報特別委員会
1月16日 議会改革特別委員会
1月25日 議会広報特別委員会

〔全員協議会〕

9月7日・12月5日

〔研修会〕

8月 1日 和歌山県町村議會議長会全議員研修会
10月19日 東牟婁郡町村議會議長会全議員研修会
11月13日 和歌山県町村議會議長会委員長・副委員長研修会

議長 公務日誌

(平成30年8月～12月 主なもの)

8月

- 1日 和歌山県町村議會議長会 全議員研修会
(上富田文化会館)
2日 近畿自動車道紀勢線すさみ・那智勝浦間道路建設
促進協議会定期総会(ホテル&リゾーツ和歌山串本)
国道42号(田辺～新宮)改良促進協議会定期総会
(ホテル&リゾーツ和歌山串本)
4日 第27回和歌山県消防操作法大会(和歌山県消防学校)
串本まつり 總おどり出発式及び花火大会
(串本町文化センター 他)
7日 平成30年度高速自動車道紀南延長促進協議会
通常総会(新宮商工会議所)
21日 和歌山県町村議會議長会 理事会及び県知事への
要望活動(和歌山市 自治会館、県庁知事室)
22日 新宮周辺広域市町村圏事務組合議会
(新宮市 公設市場)
28日 新宮周辺広域市町村圏事務組合例月監査
(新宮市 公設市場)
29日 和歌山県市町村総合事務組合 8月定例会
(和歌山市 自治会館)
30日 鹿児島県議会総務委員会行政視察(消防防災センター)
31日 平成30年度串本町土地開発公社理事会(串本町役場)
15日 駐日トルコ共和国大使来町歓迎レセプション
(ホテル&リゾーツ和歌山串本)
16日 エルトゥールル号追悼式典(樫野慰靈碑前)
2日 第2回串本古座高等学校地域協議会
(串本町文化センター)
19日 東牟婁郡町村議會議長会 全議員研修会
(那智勝浦町 ホテル浦島)
22日 平成30年度和歌山県高規格幹線道路建設促進委員会
通常総会(和歌山市 自治会館)
24日 全国町村議會議長会 都道府県会長会
(東京都 全国町村議員会館)
25日 第14回町民大運動会
(串本町総合運動公園多目的グラウンド)
29日 トルコ共和国建国95周年記念レセプション
(東京都 トルコ大使館公邸)
31日 平成30年串本町土地開発公社第4回理事会(串本町役場)

9月

10月

11月

- 1日 串本町・古座川町火葬場検討委員会(古座川町役場)
2日 新宮周辺広域市町村圏事務組合例月監査
(新宮市 公設市場)
6日 和歌山県振興協会会长への要望活動
(和歌山市 自治会館)
9日 平成30年火災予防パレード
13日 和歌山県町村議會議長会 委員長・副委員長研修会
(和歌山市 自治会館)
17日 平成30年度古座地区戦没者慰霊祭(善照寺本堂)
和歌山県立串本古座高等学校創立百周年記念式典
及び祝賀会(串本古座高校第1体育館、
ホテル&リゾーツ和歌山串本)
18日 第14回 ふれあいいきいき まつり
(串本町文化センター)
串本ライオンズクラブ認証55周年記念例会
(ホテル&リゾーツ和歌山串本)
19日 地方議会活性化シンポジウム2018(東京都)
20日 全国町村議會議長会 政党との懇談会
(東京都 自由民主党本部)
21日 第62回全国町村議會議長全国大会
(東京都 NHKホール)
22日 近畿自動車道紀勢線すさみ・那智勝浦間道路建設
促進協議会要望活動(東京都)

12月

- 1日 第19回本州最南端串本グラウンド・ゴルフ交歓大会
及び親睦会(串本町総合運動公園、
ホテル&リゾーツ和歌山串本)
7日 サン・ナンタン串本ゲートボール大会
(串本町総合運動公園多目的グラウンド)
9日 第42回串本警察署管内防犯少年剣道大会
(串本町立体育館)
21日 新宮周辺広域市町村圏事務組合例月監査
(新宮市 公設市場)

委 委 委 委 副 委
員 員 員 員 員 員
員 長 長

橋 漆 結 島 五 仲
爪 番 城 野 十 川 江
和 繁 清 孝 丸
雄 生 力 靖 紀 丸

〔表紙写真〕

今年1月18日、紀南9市町
村に広がる「南紀熊野ジオパーク」がJGC(日本ジオパーク委員会)より再認定され、
関係者がジオサイトの橋杭岩で喜びを分かち合いました。

「議会が何をしているか判らない」そんな町民の皆様の疑問に応えるべく議会だよりを発行しています。新町合併当時は18人いた議員の内、17人が一般質問を行った時がありました。現在定数は15人で、この1年の質問登壇者は平均で10人。2名の議員が4月の県議選挙に出馬を表明して、次の改選まで欠員となる見込みです。この議会だよりを参考に、それがあなたが応援した議員に叱咤激励をお願いします。

編集後記

